

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	上川南部森林計画区 （かみかわなんぶ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 上川中部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>上川南部森林計画区は、北海道中央部に所在する275,480haの国有林野を対象としており、上川中部森林管理署は、159,820haである。林分の概況は、天然林が65%でトドマツ、アカエゾマツの針葉樹とミズナラ、カンバ類、シナノキ等の広葉樹からなる針広混交林を形成している。人工林は、トドマツを主体に昭和30年以降に造成された比較的若い森林が多い。大雪山国立公園をはじめ保安林、森林生態系保護地域等の指定が多く、その大半が国有林である。</p> <p>また、当該森林地帯は北海道第二の都市旭川市周辺の水源として重要な役割を果たす等、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行なうことを目的とする。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>854 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,653 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>33.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>18.8 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	854 (ha)			保育面積	5,653 (ha)		路網整備	開設延長	33.0 (km)			改良延長	18.8 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	854 (ha)																
		保育面積	5,653 (ha)																
	路網整備	開設延長	33.0 (km)																
		改良延長	18.8 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	642,980（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	146,914（千円）																
		山地保全便益	80,429（千円）																
		環境保全便益	6,987（千円）																
		木材生産便益	237,805（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	1,268,151（千円）																
		計	1,740,286（千円）																
	分析結果（B/C）	2.71																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

<b>事業名</b>	森林環境保全整備事業（国有林）	<b>事業計画期間</b>	平成16年度～平成20年度																
<b>事業実施地区名</b> (都道府県名)	上川南部森林計画区 (かみかわなんぶ) (北海道)	<b>事業実施主体</b>	北海道森林管理局 上川南部森林管理署																
<b>事業の概要・目的</b>	<p>上川南部森林計画区は、北海道中央部に所在する275,480haの国有林野を対象としており、上川南部森林管理署管内は、115,660haである。林分の概況は、天然林が69%でトドマツ、アカエゾマツの針葉樹とミズナラ、カンバ類、シナノキ等の広葉樹からなる針広混交林を形成している。人工林は、トドマツを主体に昭和30年以降に造成された比較的若い森林が多い。大雪山国立公園、富良野芦別道立自然公園をはじめ保安林、森林生態系保護地域等の指定が多く、その大半が国有林である。</p> <p>また、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行なうことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">1,937 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>14,875 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>16.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>15.0 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,937 (ha)			保育面積	14,875 (ha)		路網整備	開設延長	16.3 (km)			改良延長	15.0 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,937 (ha)																
		保育面積	14,875 (ha)																
	路網整備	開設延長	16.3 (km)																
		改良延長	15.0 (km)																
<b>費用対効果分析</b>	<b>総費用 (C)</b>		584,777 (千円)																
	<b>総便益 (B)</b>																		
		水源かん養便益	185,399 (千円)																
	山地保全便益	101,498 (千円)																	
	環境保全便益	8,045 (千円)																	
	木材生産便益	306,543 (千円)																	
	森林整備経費縮減等便益	1,618,481 (千円)																	
	計		2,219,966 (千円)																
	<b>分析結果 (B / C)</b>		3.80																
<b>評価結果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	網走西部森林計画区 (あばしりせいぶ) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署 西紋別支署																
事業の概要・目的	<p>網走西部森林計画区は、190,722haの国有林野を対象とし、林分内容はトドマツ、カラマツの人工林のほか、カンバ類、ミズナラ、シナ等の天然林も多く、その一部に網走国定公園や天塩岳道立自然公園に指定されており、自然環境の維持、保全への要請が高い。また、土砂流出防備、土砂崩壊防備、水源かん養等を目的とした保安林が全体の80%以上となっており、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">1 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,750 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>10.7 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.2 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1 (ha)			保育面積	1,750 (ha)		路網整備	開設延長	10.7 (km)			改良延長	2.2 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	1 (ha)																
		保育面積	1,750 (ha)																
	路網整備	開設延長	10.7 (km)																
		改良延長	2.2 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	607,757 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	402,592 (千円)																
		山地保全便益	294,236 (千円)																
		環境保全便益	60,410 (千円)																
		木材生産便益	576,433 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	493,022 (千円)																
		計	1,826,693 (千円)																
	分析結果 (B / C)	3.01																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	網走西部森林計画区 （あばしりせいぶ） （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走西部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>網走西部森林計画区は、190,722haの国有林野を対象とし、林分内容はトドマツ、カラマツの人工林のほか、カンバ類、ミズナラ、シナ等の天然林も多く、その一部に網走国定公園や天塩岳道立自然公園に指定されており、自然環境の維持、保全への要請が高い。また、土砂流出防備、土砂崩壊防備、水源かん養等を目的とした保安林が全体の80%以上となっており、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な施業管理を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>56 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,148 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>10.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.5 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	56 (ha)		保育面積	3,148 (ha)	路網整備	開設延長	10.3 (km)		改良延長	2.5 (km)
森林整備	更新面積	56 (ha)													
	保育面積	3,148 (ha)													
路網整備	開設延長	10.3 (km)													
	改良延長	2.5 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	735,358（千円）													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>614,836（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>447,374（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>45,385（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>2,046,804（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>516,853（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,671,252（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	614,836（千円）	山地保全便益	447,374（千円）	環境保全便益	45,385（千円）	木材生産便益	2,046,804（千円）	森林整備経費縮減等便益	516,853（千円）	計	3,671,252（千円）
	水源かん養便益	614,836（千円）													
山地保全便益	447,374（千円）														
環境保全便益	45,385（千円）														
木材生産便益	2,046,804（千円）														
森林整備経費縮減等便益	516,853（千円）														
計	3,671,252（千円）														
分析結果（B/C）	4.99														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 (都道府県名)	十勝森林計画区 (とち) (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 十勝東部森林管理署
事業の概要・目的	<p>十勝森林計画区は、北海道東部に所在する419,045haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p style="text-align: center;">                 主な事業内容 森林整備 更新面積 545(ha)                  保育面積 3,600(ha)             </p>		
費用対効果分析	総費用(C)	388,365千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	699,285千円
		山地保全便益	373,839千円
		環境保全便益	28,612千円
		木材生産便益	17,258千円
		計	1,118,994千円
	分析結果(B/C)	2.88	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	十勝森林計画区 （とちち） （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>十勝森林計画区は、北海道東部に所在する419,045haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 更新面積 143（ha） 保育面積 711（ha）</p>			
費用対効果分析	総費用（C）		95,005千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	152,460千円	
		山地保全便益	80,050千円	
		環境保全便益	7,443千円	
	木材生産便益	3,768千円		
	計		243,721千円	
	分析結果（B/C）		2.57	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>			

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	十勝森林計画区 （とがち） （北海道）		事業実施主体	北海道森林管理局 十勝西部森林管理署東大雪支署
事業の概要・目的	<p>十勝森林計画区は、北海道東部に所在する419,045haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 更新面積 469（ha） 保育面積 2,756（ha）</p>			
費用対効果分析	総費用（C）		383,863千円	
	総便益（B）	水源かん養便益	549,075千円	
		山地保全便益	299,275千円	
		環境保全便益	17,373千円	
	木材生産便益	14,445千円		
	計	880,168千円		
	分析結果（B/C）		2.29	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>			

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	下北森林計画区 (しもきた) (青森県)	事業実施主体	東北森林管理局 下北森林管理署												
事業の概要・目的	<p>下北森林計画区（下北森林管理署分）は、青森県北端部の下北半島一帯を占め恐山火山群等の山岳地帯と東通地区の丘陵地帯に大別され、87,237haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">1,300 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,035 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>25.7 ( )</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	1,300 (ha)			保育面積	3,035 (ha)		路網整備	開設延長	25.7 ( )
主な事業内容	森林整備	更新面積	1,300 (ha)												
		保育面積	3,035 (ha)												
	路網整備	開設延長	25.7 ( )												
費用対効果分析	総費用（C）	1,630,338（千円）													
	総便益（B）	水源かん養便益	1,126,474（千円）												
		山地保全便益	487,102（千円）												
		環境保全便益	137,835（千円）												
		木材生産便益	850,812（千円）												
		森林整備経費縮減等便益	284,480（千円）												
		計	2,886,703（千円）												
	分析結果（B / C）	1.77													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														



## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 (都道府県名)	馬淵川上流森林計画区 (まぶちがわじょうりゅう) (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 岩手北部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>馬淵川上流森林計画区（岩手北部森林管理署分）は、西は秋田県境、北は青森県境に接し、奥羽山脈を南北に連なる、33,327haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">66 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,671 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.0 ( )</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	66 (ha)			保育面積	1,671 (ha)		路網整備	開設延長	7.0 ( )
主な事業内容	森林整備	更新面積	66 (ha)												
		保育面積	1,671 (ha)												
	路網整備	開設延長	7.0 ( )												
費用対効果分析	総費用 (C)	493,682 (千円)													
	総便益 (B)	水源かん養便益	996,077 (千円)												
		山地保全便益	453,390 (千円)												
		環境保全便益	122,023 (千円)												
		木材生産便益	437,704 (千円)												
		森林整備経費縮減等便益	91,000 (千円)												
		計	2,100,194 (千円)												
	分析結果 (B / C)	4.25													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	宮城北部森林計画区 （みやぎほくぶ） （宮城県）	事業実施主体	東北森林管理局 宮城北部森林管理署												
事業の概要・目的	<p>宮城北部森林計画区（宮城北部森林管理署分）は、奥羽山脈の山岳地帯、北上山地の丘陵地帯及び2つの地帯に挟まれる平野部にあり、70,566haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>445 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,868 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>27.7 ( )</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	445 (ha)		保育面積	2,868 (ha)	路網整備	開設延長	27.7 ( )			
森林整備	更新面積	445 (ha)													
	保育面積	2,868 (ha)													
路網整備	開設延長	27.7 ( )													
費用対効果分析	総費用（C）	1,402,025（千円）													
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>1,377,323（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>491,556（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>158,265（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>885,896（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>337,300（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,250,340（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	1,377,323（千円）	山地保全便益	491,556（千円）	環境保全便益	158,265（千円）	木材生産便益	885,896（千円）	森林整備経費縮減等便益	337,300（千円）	計	3,250,340（千円）
	水源かん養便益	1,377,323（千円）													
山地保全便益	491,556（千円）														
環境保全便益	158,265（千円）														
木材生産便益	885,896（千円）														
森林整備経費縮減等便益	337,300（千円）														
計	3,250,340（千円）														
分析結果（B / C）	2.32														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	鬼怒川森林計画区 （きぬがわ） （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 日光森林管理署												
事業の概要・目的	<p>鬼怒川森林計画区は、66,862haの国有林を対象としている。 当計画区は、ほぼ全域が日光国立公園に指定されており、自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、植栽・下刈・除間伐等の保育作業、林道の新設・改良等を行って、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>87ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,645ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>9,540m</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>630m</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	87ha		保育面積	1,645ha	路網整備	開設延長	9,540m		改良延長	630m
森林整備	更新面積	87ha													
	保育面積	1,645ha													
路網整備	開設延長	9,540m													
	改良延長	630m													
費用対効果分析	総費用（C）	868,120（千円）													
	総便益（B）	<table> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>918,829（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>372,782（千円）</td> </tr> <tr> <td>環境保全便益</td> <td>1,694（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>910,504（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>1,473,718（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,677,527（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	918,829（千円）	山地保全便益	372,782（千円）	環境保全便益	1,694（千円）	木材生産便益	910,504（千円）	森林整備経費縮減等便益	1,473,718（千円）	計	3,677,527（千円）
	水源かん養便益	918,829（千円）													
山地保全便益	372,782（千円）														
環境保全便益	1,694（千円）														
木材生産便益	910,504（千円）														
森林整備経費縮減等便益	1,473,718（千円）														
計	3,677,527（千円）														
分析結果（B/C）	4.24														
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業とみとめられる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものとみとめられる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年～平成20年度										
事業実施地区名 （都道府県名）	佐渡森林計画区 （さど） （新潟県）	事業実施主体	関東森林管理局 下越森林管理署										
事業の概要・目的	<p>佐渡森林計画区は、1,000haの国有林を対象としている。 当計画区は、国際保護鳥及び天然記念物であるトキの保護繁殖のため、約6割が鳥獣保護区特別保護地区に指定されている。</p> <p>また、離島であるため水に対する要請も多く、自然環境の維持・保全及び水源かん養、生物多様性の保全、地球温暖化防止等の公益的機能の発揮等に関する地域の要請が高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、下刈・除間伐等の保育作業、林道の改良等を行って、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的として実施する。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>保育面積</td> <td>31ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>300m</td> </tr> </table>			森林整備	保育面積	31ha	路網整備	改良延長	300m				
森林整備	保育面積	31ha											
路網整備	改良延長	300m											
費用対効果分析	総費用（C）	57,582（千円）											
	総便益（B）	<table border="0"> <tr> <td>水源かん養便益</td> <td>25,596（千円）</td> </tr> <tr> <td>山地保全便益</td> <td>10,385（千円）</td> </tr> <tr> <td>木材生産便益</td> <td>86,547（千円）</td> </tr> <tr> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>3,812（千円）</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>126,340（千円）</td> </tr> </table>		水源かん養便益	25,596（千円）	山地保全便益	10,385（千円）	木材生産便益	86,547（千円）	森林整備経費縮減等便益	3,812（千円）	計	126,340（千円）
	水源かん養便益	25,596（千円）											
山地保全便益	10,385（千円）												
木材生産便益	86,547（千円）												
森林整備経費縮減等便益	3,812（千円）												
計	126,340（千円）												
分析結果（B/C）	2.19												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： トキの保護繁殖、自然環境の維持・保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業とみとめられる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものとみとめられる。</p>												

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	八溝多賀森林計画区 （やみぞたが） （茨城県）	事業実施主体	関東森林管理局 茨城森林管理署																
事業の概要・目的	<p>八溝多賀森林計画区は、茨城県北部に所在し、機能類型は、水土保持林25,605ha、森と人との共生林4,498ha、資源の循環利用林5,089haとなっており、これらの合計35,192haの国有林である。</p> <p>当計画区の立地条件等は、主として里山林であるが多様であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養など、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、機能類型に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 50%;">455 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>7,213 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>17.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>24.5 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	455 (ha)			保育面積	7,213 (ha)		路網整備	開設延長	17.8 (km)			改良延長	24.5 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	455 (ha)																
		保育面積	7,213 (ha)																
	路網整備	開設延長	17.8 (km)																
		改良延長	24.5 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	2,572,032（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,515,454（千円）																
		山地保全便益	978,846（千円）																
		環境保全便益	425,975（千円）																
		木材生産便益	3,001,185（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	2,240,370（千円）																
		計	9,161,830（千円）																
	分析結果（B/C）	3.56																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 自然環境の維持、保全及び、特に本森林計画区では、3機能類型の中で水土保持林水源かん養タイプが7割以上占めることから水源かん養など、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、上述の更新、保育及び路網整備を実施することは、森林の持つ水源かん養などの公益的機能が着実に発揮されることであり、また、当該地域は、スギの人工林を代表とする八溝地域を形成していることから、これらの実施は、地域の林業、木材産業等の振興に大きく寄与するなど、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・ 効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて、総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、路網整備が効率的に計画されており、地域の特性も踏まえた有効な事業と認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	鬼怒川森林計画区 （きぬがわ） （栃木県）	事業実施主体	関東森林管理局 日光森林管理署
事業の概要・目的	<p>鬼怒川森林計画区は、栃木県南東部に所在し、機能類型は、水土保全林1,001ha、森と人との共生林294ha、資源の循環利用林14haとなっており、これらの合計1,308haの国有林である。</p> <p>当計画区の立地条件等は、主として里山林であるが、多様であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養など、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、機能類型に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 保育面積 165 (ha)</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	16,263（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	86,544（千円）
		山地保全便益	33,675（千円）
		環境保全便益	14,009（千円）
		木材生産便益	21,999（千円）
		計	156,227（千円）
	分析結果（B / C）	9.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び特に本森林計画区では、機能類型の中で水土保全林水源かん養タイプが6割以上占めることから水源かん養など、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、上述の保育を実施することは、森林の持つ水源かん養などの公益的機能が着実に発揮されるところであり、また、森と人との共生林の占める割合が比較的高い本計画区において、保育を実施することが重要となっており、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて、総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されており、地域の特性も踏まえた有効な事業と認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	天竜森林計画区 （てんりゅう） （静岡県）	事業実施主体	関東森林管理局 天竜森林管理署												
事業の概要・目的	<p>天竜森林計画区は、静岡県西部に所在し、機能類型は、水土保持林18,554ha、森と人との共生林3,384ha、資源の循環利用林737haとなっており、これらの合計22,676haの国有林である。</p> <p>当計画区の立地条件等は、里山林から奥地林まで占め、極めて多様であり、自然環境の維持、保全及び水源かん養など、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、機能類型に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>52 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,518 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.8 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>14.9 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	52 (ha)		保育面積	1,518 (ha)	路網整備	開設延長	8.8 (km)		改良延長	14.9 (km)
森林整備	更新面積	52 (ha)													
	保育面積	1,518 (ha)													
路網整備	開設延長	8.8 (km)													
	改良延長	14.9 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	1,756,790（千円）													
	総便益（B）														
		水源かん養便益	304,137（千円）												
	山地保全便益	171,045（千円）													
	環境保全便益	57,002（千円）													
	木材生産便益	2,936,699（千円）													
	森林整備経費縮減等便益	1,229,457（千円）													
	計	4,698,340（千円）													
	分析結果（B/C）	2.67													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性：特に本森林計画区では、機能類型の中で水土保持林国土保全タイプが2割以上、水土保持林水源かん養タイプが6割以上占めることから自然環境の維持、保全及び水源かん養など、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性：国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、上述の更新、保育及び路網整備を実施することは、森林の持つ国土保全、水源かん養などの公益的機能が着実に発揮されるところであり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて、総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、路網整備が効率的に計画されており、地域の特性も踏まえた有効な事業と認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	千曲川上流森林計画区 （ちくまがわじょうりゅう） （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 東信森林管理署																
事業の概要・目的	<p>信濃川広域流域に属する本計画区は、長野県東部に位置する58,484haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件は千曲川上流部等奥地に所在していることから、国土保全や水源かん養に重要な役割を担っている。併せて木材等の生産の他、自然環境保全・レクリエーションの場の提供等といった森林の有する公益的機能の高度発揮が特に求められる地域である。</p> <table border="0"> <tr> <td>主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>51 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>598 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>9.5 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	51 (ha)			保育面積	598 (ha)		路網整備	開設延長	4.2 (km)			改良延長	9.5 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	51 (ha)																
		保育面積	598 (ha)																
	路網整備	開設延長	4.2 (km)																
		改良延長	9.5 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	898,310（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	896,240（千円）																
		山地保全便益	442,470（千円）																
		環境保全便益	74,663（千円）																
		木材生産便益	2,093,023（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	293,124（千円）																
		計	3,799,520（千円）																
	分析結果（B / C）	4.23																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 国土保全及び水源かん養、自然環境の維持等公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるため、本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		



## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	庄川森林計画区 （しょうかわ） （富山県）	事業実施主体	中部森林管理局 富山森林管理署
事業の概要・目的	<p>庄川森林計画区は、8,473haの国有林を対象としている。林分内容はブナ、ナラ等の天然林が89%と極めて高く、白山国立公園、白木水無県立自然公園の指定地も含んでおり、自然環境の維持、保全及び水源かん養等への要請が高い。また、地形地質等の条件から、国有林野の全域が土砂流出防備、水源かん養等の保安林に指定されており、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 保育面積 137 (ha)</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	23,061 (千円)	
	総便益 (B)	水源かん養便益	129,846 (千円)
		山地保全便益	40,654 (千円)
		環境保全便益	1,897 (千円)
		木材生産便益	3,088 (千円)
	計	175,485 (千円)	
	分析結果 (B / C)	7.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	揖斐川森林計画区 （いびがわ） （岐阜県）	事業実施主体	中部森林管理局 岐阜森林管理署												
事業の概要・目的	<p>揖斐川森林計画区は、9,967haの国有林を対象としている。林分内容はスギ、ヒノキ等の人工林は11%、ブナ、ナラ等の天然林が89%と天然林の割合が高く、揖斐関ヶ原養老県立自然公園の指定地も含んでおり、自然環境の維持、保全及び水源かん養等への要請が高い。また、国有林野の97%が水源かん養保安林に指定されており、公益的機能の発揮への要請も高い。これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>2 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>160 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.3 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	2 (ha)		保育面積	160 (ha)	路網整備	開設延長	0.3 (km)		改良延長	0.4 (km)
森林整備	更新面積	2 (ha)													
	保育面積	160 (ha)													
路網整備	開設延長	0.3 (km)													
	改良延長	0.4 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	86,707（千円）													
	総便益（B）	水源かん養便益	128,435（千円）												
		山地保全便益	37,453（千円）												
		環境保全便益	6,223（千円）												
		木材生産便益	135,354（千円）												
		森林整備経費縮減等便益	35,484（千円）												
		計	342,949（千円）												
	分析結果（B / C）	3.96													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等の公益的機能発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度									
事業実施地区名 （都道府県名）	南伊勢森林計画区 （みなみいせ） （三重県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 三重森林管理署									
事業の概要・目的	<p>南伊勢森林計画区は、7,283haの国有林野を対象として、全域が水源かん養保安林に指定され、公益的機能の高度発揮に重要な役割を担っている。</p> <p>また、宮川源流の大杉谷国有林は、保健保安林に指定されるとともに、吉野熊野国立公園の一部を占め、関西有数の自然散策、登山の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>7 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>225 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>2.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	7 (ha)		保育面積	225 (ha)	路網整備	改良延長	2.4 (km)
森林整備	更新面積	7 (ha)										
	保育面積	225 (ha)										
路網整備	改良延長	2.4 (km)										
費用対効果分析	総費用（C）	100,202（千円）										
	総便益（B）	水源かん養便益	219,444（千円）									
		山地保全便益	30,112（千円）									
		環境保全便益	3,450（千円）									
		木材生産便益	186,605（千円）									
		森林整備経費縮減等便益	60,138（千円）									
		計	499,749（千円）									
	分析結果（B / C）	4.99										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	揖保川森林計画区 （いぼがわ） （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署																
事業の概要・目的	<p>揖保川森林計画区は、14,681haの国有林野を対象として、水源かん養保安林が80%を占めるなど、水源地域として重要な役割を担っている。</p> <p>また、瀬戸内海沿岸部の都市近郊に所在する国有林は、都市住民の保健休養の場としても重要な役割を果たしており、更には北西部の国有林は大部分が氷ノ山後山那岐山国定公園、音水ちくさ県立自然公園及び雪彦峰山県立自然公園に含まれ、豊かな森林景観など豊富な観光資源に恵まれていることから、ハイキングや登山者も多く、保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">97 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>3,213 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.1 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.2 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	97 (ha)			保育面積	3,213 (ha)		路網整備	開設延長	1.1 (km)			改良延長	2.2 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	97 (ha)																
		保育面積	3,213 (ha)																
	路網整備	開設延長	1.1 (km)																
		改良延長	2.2 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	1,189,474（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	2,254,347（千円）																
		山地保全便益	177,984（千円）																
		環境保全便益	2,770,375（千円）																
		木材生産便益	82,117（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	82,117（千円）																
		計	6,084,871（千円）																
	分析結果（B/C）	5.12																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	吉野森林計画区 （よしの） （奈良県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 奈良森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>吉野森林計画区は、和歌山県へ流れる紀ノ川の上流部の、852haの国有林野を対象として、全体森林面積に対する国有林面積は1%と少ないが、スギ、ヒノキ人工林のほか、モミ、ツガ、ミズナラ、ブナなどの天然林がある。</p> <p>また、特異な分布として暖地性昆虫が生息しており、この保護のための森林の取扱が求められ、自然環境の保全、国土保全機能、保健文化機能の発揮が望まれる森林の比率が高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 更新面積 1 (ha) 保育面積 105 (ha)</p>		
費用対効果分析	総費用 (C)	23,170 (千円)	
	総便益 (B)	水源かん養便益	101,016 (千円)
		山地保全便益	37,742 (千円)
		環境保全便益	7,578 (千円)
		木材生産便益	30,062 (千円)
		計	176,398 (千円)
	分析結果 (B / C)	7.61	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																								
事業実施地区名 （都道府県名）	紀南森林計画区 （きなん） （和歌山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署																								
事業の概要・目的	<p>紀南森林計画区は、9,494haの国有林野を対象として、全体森林面積に対する国有林面積は5%と低いものの、水源かん養保安林の指定が70%を占めるなど脊梁部の水源地域は下流域の水源かん養機能の確保に重要な役割を担っている。</p> <p>また吉野熊野国立公園に位置する国有林もあり保健休養の場としても多くの人々に利用されている。</p> <p>森林生物遺伝資源保存林においては、貴重な動植物等の遺伝資源の保存のための維持管理が求められており、更に、木材の安定供給への要請も高く木材生産機能の持つ役割も大きい。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>47 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,185 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>改良延長</td> <td>1.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	47 (ha)		保育面積	1,185 (ha)	路網整備	改良延長	1.1 (km)															
森林整備	更新面積	47 (ha)																									
	保育面積	1,185 (ha)																									
路網整備	改良延長	1.1 (km)																									
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総費用（C）</td> <td></td> <td>401,814（千円）</td> </tr> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>水源かん養便益</td> <td>1,525,291（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益</td> <td>304,626（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td>63,203（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益</td> <td>496,485（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>20,007（千円）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>2,409,612（千円）</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td></td> <td>6.00</td> </tr> </table>			総費用（C）		401,814（千円）	総便益（B）	水源かん養便益	1,525,291（千円）		山地保全便益	304,626（千円）		環境保全便益	63,203（千円）		木材生産便益	496,485（千円）		森林整備経費縮減等便益	20,007（千円）		計	2,409,612（千円）	分析結果（B/C）		6.00
総費用（C）		401,814（千円）																									
総便益（B）	水源かん養便益	1,525,291（千円）																									
	山地保全便益	304,626（千円）																									
	環境保全便益	63,203（千円）																									
	木材生産便益	496,485（千円）																									
	森林整備経費縮減等便益	20,007（千円）																									
	計	2,409,612（千円）																									
分析結果（B/C）		6.00																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																								
事業実施地区名 （都道府県名）	天神川森林計画区 （てんじんがわ） （鳥取県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 鳥取森林管理署																								
事業の概要・目的	<p>天神川森林計画区は、8,926haの国有林野を対象として、ほとんどが県境付近の山岳地域に所在する。</p> <p>水源かん養などの保安林が占める割合は98%と高く、水資源の確保及び国土保全上重要な役割を担っている。</p> <p>また、大山隠岐国立公園の一部となっている国有林野は大山森林生態系保護地域に設定し、自然景観の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存など森林の保全管理に努めている。さらに、史跡・名勝等の自然美に恵まれた豊富な観光資源に恵まれていることから、登山などのレクリエーション等保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>保育面積</td> <td>774 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.8 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	保育面積	774 (ha)	路網整備	開設延長	3.8 (km)																		
森林整備	保育面積	774 (ha)																									
路網整備	開設延長	3.8 (km)																									
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総費用 (C)</td> <td></td> <td>485,117 (千円)</td> </tr> <tr> <td>総便益 (B)</td> <td>水源かん養便益</td> <td>860,596 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益</td> <td>297,769 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td>63,265 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益</td> <td>417,028 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>153,013 (千円)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>1,791,814 (千円)</td> </tr> <tr> <td>分析結果 (B / C)</td> <td></td> <td>3.77</td> </tr> </table>			総費用 (C)		485,117 (千円)	総便益 (B)	水源かん養便益	860,596 (千円)		山地保全便益	297,769 (千円)		環境保全便益	63,265 (千円)		木材生産便益	417,028 (千円)		森林整備経費縮減等便益	153,013 (千円)		計	1,791,814 (千円)	分析結果 (B / C)		3.77
総費用 (C)		485,117 (千円)																									
総便益 (B)	水源かん養便益	860,596 (千円)																									
	山地保全便益	297,769 (千円)																									
	環境保全便益	63,265 (千円)																									
	木材生産便益	417,028 (千円)																									
	森林整備経費縮減等便益	153,013 (千円)																									
	計	1,791,814 (千円)																									
分析結果 (B / C)		3.77																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度									
事業実施地区名 （都道府県名）	高津川森林計画区 （たかつがわ） （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署									
事業の概要・目的	<p>高津川森林計画区は、12,616haの国有林野を対象として、大部分が中国山地の中腹以上に分布しており、高津川各支流の水源地帯において水源かん養機能の重要な役割を果たしている。</p> <p>国有林の一部は西中国山地国定公園に指定され豊かな自然景観からレクリエーション、保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>林産物の供給や地域振興への寄与にも配慮しつつ、国土の保全や水源かん養に加え地球温暖化防止、生物の多様性の保全など公益的機能の発揮に重点を置きつつ、本事業はこれらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>25 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,358 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	25 (ha)		保育面積	1,358 (ha)	路網整備	開設延長	2.4 (km)
森林整備	更新面積	25 (ha)										
	保育面積	1,358 (ha)										
路網整備	開設延長	2.4 (km)										
費用対効果分析	総費用（C）	507,695（千円）										
	総便益（B）	水源かん養便益	1,435,921（千円）									
		山地保全便益	446,460（千円）									
		環境保全便益	92,604（千円）									
		木材生産便益	478,778（千円）									
		森林整備経費縮減等便益	49,110（千円）									
		計	5,581,797（千円）									
	分析結果（B/C）	4.93										
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											



## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	旭川森林計画区 （あさひがわ） （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署												
事業の概要・目的	<p>旭川森林計画区は、10,962haの国有林野を対象として、北部の中国山地及び中央部の吉備高原、南部の岡山平野の都市近郊林に所在している。</p> <p>中央部から南部にかけては、人工林率が比較的高く優良な木材生産の場としての役割を果たしていると共に、下流域の水源としての重要な役割も果たしている。また、都市近郊に所在する国有林野は都市住民の保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>35 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,000 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>4.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	35 (ha)		保育面積	2,000 (ha)	路網整備	開設延長	4.0 (km)		改良延長	0.1 (km)
森林整備	更新面積	35 (ha)													
	保育面積	2,000 (ha)													
路網整備	開設延長	4.0 (km)													
	改良延長	0.1 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	747,490（千円）													
	総便益（B）	水源かん養便益	1,569,469（千円）												
		山地保全便益	647,737（千円）												
		環境保全便益	140,755（千円）												
		木材生産便益	1,019,115（千円）												
		森林整備経費縮減等便益	233,159（千円）												
		計	3,610,235（千円）												
	分析結果（B/C）	4.83													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														



## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度
事業実施地区名 （都道府県名）	豊田森林計画区 （とよた） （山口県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所
事業の概要・目的	<p>豊田森林計画区は、山口県西部に所在する国有林野236haの一団地のみであるが、全面積が水源かん養保安林に指定されており水源かん養機能の確保や国土の保全に重要な役割を担っている。</p> <p>林産物の供給や地域振興への寄与にも配慮しつつ、国土の保全や水源かん養に加え地球温暖化防止、生物の多様性の保全など公益的機能の発揮に重点を置きつつ、本事業はこれらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容 森林整備 保育面積 31（ha）</p>		
費用対効果分析	総費用（C）	6,777（千円）	
	総便益（B）	水源かん養便益	37,485（千円）
		山地保全便益	12,881（千円）
		環境保全便益	2,896（千円）
		木材生産便益	12,818（千円）
		計	66,080（千円）
	分析結果（B/C）	9.75	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	那賀海部川森林計画区 （なかかいふがわ） （徳島県）	事業実施主体	四国森林管理局 徳島森林管理署																
事業の概要・目的	<p>那賀・海部川森林計画区は、徳島県南部に所在する4,457haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">2 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>134 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>2.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.4 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	2 (ha)			保育面積	134 (ha)		路網整備	開設延長	2.0 (km)			改良延長	0.4 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	2 (ha)																
		保育面積	134 (ha)																
	路網整備	開設延長	2.0 (km)																
		改良延長	0.4 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	186,158（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	1,853（千円）																
		山地保全便益	578（千円）																
		環境保全便益	89（千円）																
		木材生産便益	193,171（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	61,880（千円）																
		計	257,571（千円）																
	分析結果（B / C）	1.38																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	中予山岳森林計画区 （ちゅうよさんがく） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																
事業の概要・目的	<p>中予山岳森林計画区は、愛媛県中央部に所在する13,036haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">118 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,061 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.4 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	118 (ha)			保育面積	1,061 (ha)		路網整備	開設延長	5.4 (km)			改良延長	3.4 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	118 (ha)																
		保育面積	1,061 (ha)																
	路網整備	開設延長	5.4 (km)																
		改良延長	3.4 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	677,496（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	174,595（千円）																
		山地保全便益	81,818（千円）																
		環境保全便益	23,066（千円）																
		木材生産便益	938,462（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	126,322（千円）																
		計	1,344,263（千円）																
	分析結果（B / C）	1.98																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	嶺北森林計画区 （れいほく） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 嶺北森林管理署																
事業の概要・目的	<p>嶺北森林計画区は、高知県北部に所在する22,933haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 10%;">森林整備</td> <td style="width: 10%;">更新面積</td> <td style="width: 10%;">150 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,474 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>11.2 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>24.3 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	150 (ha)			保育面積	2,474 (ha)		路網整備	開設延長	11.2 (km)			改良延長	24.3 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	150 (ha)																
		保育面積	2,474 (ha)																
	路網整備	開設延長	11.2 (km)																
		改良延長	24.3 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	977,892（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	288,239（千円）																
		山地保全便益	62,944（千円）																
		環境保全便益	19,062（千円）																
		木材生産便益	2,073,149（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	304,915（千円）																
		計	2,748,309（千円）																
	分析結果（B / C）	2.81																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	筑後・矢部川森林計画区 （ちくご・やべがわ） （福岡県）	事業実施主体	九州森林管理局 福岡森林管理署																
事業の概要・目的	<p>筑後・矢部川森林計画区は、福岡県南部に所在する4,028haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">71 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,051 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.4 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>3.5 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	71 (ha)			保育面積	1,051 (ha)		路網整備	開設延長	7.4 (km)			改良延長	3.5 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	71 (ha)																
		保育面積	1,051 (ha)																
	路網整備	開設延長	7.4 (km)																
		改良延長	3.5 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	256,300（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	287,909（千円）																
		山地保全便益	86,207（千円）																
		環境保全便益	77,607（千円）																
		木材生産便益	91,578（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	127,360（千円）																
		計	670,661（千円）																
	分析結果（B / C）	2.62																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	緑川森林計画区 （みどりかわ） （熊本県）	事業実施主体	九州森林管理局 熊本森林管理署																
事業の概要・目的	<p>緑川森林計画区は、熊本県中部に所在する13,648haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">102 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,041 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>9.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>2.4 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	102 (ha)			保育面積	1,041 (ha)		路網整備	開設延長	9.0 (km)			改良延長	2.4 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	102 (ha)																
		保育面積	1,041 (ha)																
	路網整備	開設延長	9.0 (km)																
		改良延長	2.4 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	352,255（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	497,346（千円）																
		山地保全便益	160,752（千円）																
		環境保全便益	40,746（千円）																
		木材生産便益	228,575（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	119,871（千円）																
		計	1,047,290（千円）																
	分析結果（B / C）	2.97																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		



## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	大分北部森林計画区 （おおいたほくぶ） （大分県）	事業実施主体	九州森林管理局 大分西部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>大分北部森林計画区は、大分県北部に所在する6,442haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">52 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1,041 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	52 (ha)			保育面積	1,041 (ha)		路網整備	開設延長	1.5 (km)			改良延長	1.0 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	52 (ha)																
		保育面積	1,041 (ha)																
	路網整備	開設延長	1.5 (km)																
		改良延長	1.0 (km)																
費用対効果分析	総費用（C）	168,148（千円）																	
	総便益（B）	水源かん養便益	303,923（千円）																
		山地保全便益	103,181（千円）																
		環境保全便益	28,540（千円）																
		木材生産便益	158,748（千円）																
		森林整備経費縮減等便益	50,757（千円）																
		計	645,149（千円）																
	分析結果（B / C）	3.84																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																
事業実施地区名 (都道府県名)	宮崎北部森林計画区 (みやざきほくぶ) (宮崎県)	事業実施主体	九州森林管理局 宮崎北部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>宮崎北部森林計画区は、宮崎県北部に所在する20,288haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%;">29 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>443 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>8.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>11.7 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	29 (ha)			保育面積	443 (ha)		路網整備	開設延長	8.0 (km)			改良延長	11.7 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	29 (ha)																
		保育面積	443 (ha)																
	路網整備	開設延長	8.0 (km)																
		改良延長	11.7 (km)																
費用対効果分析	総費用 (C)	242,951 (千円)																	
	総便益 (B)	水源かん養便益	563,029 (千円)																
		山地保全便益	121,804 (千円)																
		環境保全便益	32,070 (千円)																
		木材生産便益	193,772 (千円)																
		森林整備経費縮減等便益	136,355 (千円)																
		計	1,047,030 (千円)																
	分析結果 (B / C)	4.31																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																		

## 事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	南薩森林計画区 （なんさつ） （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 鹿児島森林管理署												
事業の概要・目的	<p>南薩森林計画区は、鹿児島県南西部薩摩半島を中心に所在する9,982haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>65 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>202 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>7.4 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	65 (ha)		保育面積	202 (ha)	路網整備	開設延長	1.0 (km)		改良延長	7.4 (km)
森林整備	更新面積	65 (ha)													
	保育面積	202 (ha)													
路網整備	開設延長	1.0 (km)													
	改良延長	7.4 (km)													
費用対効果分析	総費用（C）	145,313（千円）													
	総便益（B）	水源かん養便益	195,435（千円）												
		山地保全便益	51,860（千円）												
		環境保全便益	15,938（千円）												
		木材生産便益	188,354（千円）												
		森林整備経費縮減等便益	93,182（千円）												
		計	544,769（千円）												
	分析結果（B / C）	3.75													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。</li> <li>・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。</li> <li>・効率性： 費用対効果分析の分析結果から十分な効率性が認められる。</li> </ul> <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														